

ユネスコ無形文化遺産保護条約 第14回政府間委員会 概要

1. 日時・場所

2019年12月9日～12月14日 於:ボゴタ(コロンビア)

2. 委員会の構成:

議長: Ms Mar á Claudia Lopez Sorzano (コロンビア)

ラポラトゥール: Mr Bernard Jankee(ジャマイカ)

副議長: オーストラリア, ポーランド, フィリピン, ザンビア, パレスチナ

委員国(24か国)

地域	任期:2016-2020	任期:2018-2022
西欧	オーストリア, キプロス	オランダ
東欧	アルメニア	アゼルバイジャン, ポーランド
中南米	コロンビア, キューバ, グアテマラ	ジャマイカ
アジア 大洋州	フィリピン	日本, 中国, カザフスタン, スリランカ
アフリカ	モーリシャス, セネガル, ザンビア	カメルーン, ジブチ, トーゴ
中東	レバノン, パレスチナ	クウェート

3. 主要議題概要

(1) 条約の運用改善に向けて(議題10, 14等)

評価機関が各国からの提案を審査するにあたり, 昨年(2018年)の第13回政府間委員会における議論を受け, 2019年の審査プロセスから試験的に導入された「対話プロセス」(審査過程で提案書に軽微な情報不足が見られた場合, 評価機関から提案国に照会し, 得られた回答に基づき評価するというシステム)については, 6件の案件で行われ, いずれも評価が良い方に転じる結果となり, 好評を得た。

昨年(2018年)の第13回政府間委員会で日本が拠出を表明した条約運用の制度改善に向けた会合については, 以下のスケジュールが示され, 各国から期待が表明された。

- 2020年3月 専門家会合
 - 2021年 オープンエンド政府間ワーキンググループ
 - 2022年 第9回締約国会合において運用の制度変更を採択
- 主要な課題
 - ・各種一覧表への記載メカニズム
 - ・記載基準
 - ・すでに記載された案件のフォローアップ
 - ・審査方法

(2)「無形文化遺産代表一覧表」等の審議(議題10a～d.)

「代表一覧表」(全463件)

- 42件が審査され、記載35件、情報照会5件、取り下げ2件。
評価機関の勧告：記載28件、情報照会12件、不記載2件。
インドの「ソワ・リグパ(チベット伝統医学)」は、「対話プロセス」により記載と勧告されたが、中国が国境問題のある地域が対象に含まれているとして反対、記載が見送られた。

「緊急保護一覧表」(全64件)

- 6件が審査され、記載5件、取り下げ1件。
評価機関の勧告：記載1件、情報照会5件(うち2件は国際的援助要請兼)。

○「グッド・プラクティス」(全22件)

- 3件が審査され、選択2件、取り下げ1件。
評価機関の勧告：選択2件、不選択1件。

「国際的援助」(全1件)

- 1件が審査され、承認1件。
評価機関の勧告：承認1件。

(3)一覧表記載案件のフォローアップ(議題12)

- ベルギーの「アールストのカーニバル」(2010年代表一覧表記載)について、カーニバルの山車に反ユダヤ主義・人種差別的な表現が見られるとの指摘から、今回の委員会で審議の結果記載取り消しとなった。

(4)次回委員会の開催時期・場所及びビューロー(議題20,21)

開催時期：2020年11月30日～12月5日(6日間)

開催場所：キングストン(ジャマイカ)

ビューロー 議長：オリビア・グリーン(ジャマイカ)

ラポラトゥール：アスカル・アドラハマダル(カザフスタン)

副議長：オランダ、アゼルバイジャン、中国、ジブチ

(以上)